

市民協働フォーラム開催要項

「持続可能な岡山市づくりのためのワークショップ」

協働で岡山市の社会課題解決を考える

1 趣旨

岡山市及びESD市民活動推進センター(NPO法人岡山NPOセンター)では、岡山市が抱える社会課題に対して官民協働で解決にあたり、持続可能な岡山市づくりを進めるための基盤整備を目的として、市民と行政が情報を共有しながら、相互の強みや特徴を生かした協働による解決手法を考えるためのワークショップを開催します。

なお、当日は「コミュニティ・オーガナイズング」の手法を学んだ市内NPOの若手リーダーがファシリテーターを務め、普通の市民が持てる力を最大限に発揮して、社会を変えていこうとする理論と実践の場(機会)を提供する事とします。

2 主催 ESD市民活動推進センター(NPO法人岡山NPOセンター)

岡山市(安全・安心ネットワーク推進室)

3 日時 2014年9月26日(金) 13:30~16:30(3時間)

4 会場 旧内山下小学校 3階 福祉実習室(岡山市北区丸の内1丁目2-12)

5 内容・進め方 以下の構成で実施します。

(1) 導入 進め方の説明・グループごとの自己紹介(10分)

・早い段階でお互いに意見を言える空気を作ります。

(2) テーマ(社会課題)に関する状況説明(10分)

・ファシリテーターから各テーマの現状や原因についての説明を行います。

(3) テーマの解決のための方法について(85分)

・状況分析を受けて、官民それぞれで取り組むこと、合同で取り組むことを検討します。

(4) 検討結果の発表(60分)

・それぞれのグループでの検討結果を発表し、市長よりコメントをいただきます。

6 期待される効果

本ワークショップを実施することで以下のような効果が期待できます。

(1) 来年度に実施する協働提案事業のアイデアが生まれる。

(2) 官民の相互理解がさらに進み、日常的な連携のきっかけが生まれる。

(3) 参加者の問題意識を顕在化することで、相互理解を深める。

(4) 市長の評価を受けて、岡山市及び市民の次年度以降へ向けた機運を醸成する。

(5) 岡山市の若手NPOリーダーにコミュニティ・オーガナイズングの手法を実践する機会を提供する。

裏につづく

7 テーマ

	テーマ	概要	ファシリテーター
A	これからの生物多様性について考える	多様な生き物が生息する豊かな自然と岡山市民の生活を調和させるためにできることを考える。	山本 幸さん (大野ダルマガエル保全プロジェクト)
B	これからのキャリア教育について考える	若者に多様な選択肢を提示することの重要性とその方法について考える。	柏原 拓史さん (NPO 法人だっぴ)
C	これからの旧内山下小学校について考える	旧内山下小学校の保存・活用を通して中心市街地のまちづくりについて考える。	打谷 直樹さん (NPO 法人 ENNOVA OKAYAMA)
D	これからの難病児童の教育環境について考える	病気により学校に通えない子どもの現状と教育を支える施策について考える。	三好 祐也さん (ポケットサポート)
E	これからの子どもの社会復帰について考える	不登校・ひきこもりの子どもの復学や就職における課題を知り、支援策を考える。	中山 遼さん (フリースペースあかね)
F	これからの健康寿命について考える	いつまでも健康で生きる喜びを感じられる社会をつくるために官民でできることを考える。	西山 基次さん (NPO 法人みんなの集落研究所)
G	これからの生活困窮者支援について考える	路上生活者等の生活と自立を支えるために官民でできることを考える。	渡部 廣一さん (NPO 法人ホームレス支援きずな)